



人工関節で歩こう！～ひざ痛で寝つきりにならないために～ 整形外科主任医長 清水 憲政

高齢化の進展に伴い、変形性膝関節症をはじめとする関節疾患を主訴に来院される患者さんの数が増加しました。そこで膝関節疾患に特化し、より高度な医療を効率よく提供するために人工ひざ関節外来を立ち上げました。開設後多くの反響をいただきしており、近隣だけでなく遠方からも患者さんに来院して頂けるようになりました。高い医療水準を確保するだけでなく、クリーンルーム対応の手術室、明るく開放感あふれるリハビリ室、熟練したスタッフ、理学療法士とともに、患者さんの快適性を第一に考え治療を行っています。

患者さんの中には、来院された時点から手術をご希望される方もおられます。これまでの治療内容を伺い、手術をしない治療(保存的治療)が十分にされているか検討します。手術には必ずリスクが伴いますので、手術はあくまで最終手段として、適切なステップで治療を進めていくことが重要であると考えています。しかしながら、高齢になればなるほど手術合併症も増加し、筋力の回復も難しくなってくるため、それぞれの患者さんにとってベストな手術時期を逃さないためにも、年齢や背景、筋力に応じた最適な治療方法を提案しています。また骨粗鬆症は術後成績に影響を及ぼすため、適切な骨粗鬆症の治療も行っています。

当院での人工ひざ関節治療は、手術前に患者さんのCTデータをもとに3次元的に骨の形状を再構築し、インプラントのサイズや設置位置の決定、手術方法の決定をオーダーメイドで行います。計画通りに手術をすることにより、術後合併症を減らし、安全で正確な手術が可能となります。また術後にもオーダーメイドのリハビリテーションを提供しています。患者さんが何に困って今回の手術に至ったのか、術後何をしたいのかなどを理学療法士が聞き取り、そのために獲得すべき能力に焦点を当てたメニューを組みます。

人工ひざ関節専門外来(月曜午後:完全予約制)では、手術適応の判断や手術方法の選択、説明など患者さんの不安や疑問にお答えします。予約は当院地域連携室で承っておりますので、お気軽にお問合せ下さい。



がんフォーラム2016

がんと共存 よりよく生きる ～がん患者のQOL(生活の質)向上をめざして～

入場
無料

日時 平成28年9月17日(土)
午後1時30分～4時 会場 芦屋市民センター
ルナ・ホール(定員600名)

プログラム

講 演 座 長 市立芦屋病院 副病院長 水谷 伸

1 「がんとの向き合い方を考える
～これからの抗がん剤治療のあり方～」

市立芦屋病院 血液・腫瘍内科 主任医長 西本 哲郎

2 「地域で支える緩和ケア～早期からの介入～」

市立芦屋病院 緩和ケア内科 主任医長 中嶋 真一郎

特別講演 座 長 市立芦屋病院 病院長 西浦 哲雄

「がん治療 仕事と両立へ」

国立研究開発法人 国立がん研究センター 名誉総長

国立病院機構 名古屋医療センター 名譽院長

堀田 知光



教えてDr!

乳腺専門外来について

副病院長 水谷 伸

今話題の乳がんですが、近年乳がんは爆発的に増加しています。乳がんは女性のがんの中では罹患率第一位であり、さらに今後も増加傾向にある疾患です。一方、日本女性の乳がん検診率は30%前後と著明に低い(欧米女性の乳がん検診率が80%以上と高率)ことが問題視されています。乳がんは早期発見し正しい治療を受ければ、大切な乳房を失うことなく完治する疾患があるので、すべての女性は乳がん検診やその治療についての知識を持つことが重要です。30歳を越えたら専門医療機関での乳房撮影(マンモグラフィー)検査と超音波検査のどちらか、あるいは両方を年1回行うことをお勧めします。

当院外科では「乳腺外科」を標榜しており乳腺の診察は毎日可能ですが、特に水曜日に乳腺専門外来を実施しております。希望すれば乳房撮影(マンモグラフィー)検査や超音波検査を、予約なしにその日のうちに実施できますのでご利用ください。

乳がん検診・子宮頸がん検診のご案内 :

検診も毎日実施しています！
乳がん検診にあわせて、子宮頸がん検診
もお勧めしています。

乳がん検診

対 象	市内在住の40歳以上の女性 (2年に1回の受診となります)
※豊胸手術・ペースメーカー装着・ 妊娠中・授乳中の場合は、受けことができません	
内 容	問診、触診、マンモグラフィ(※女性技師が撮影しています)
日 時	平日 月～金曜日の午前中(予約制)
料 金	2,000円(70歳以上の方は無料となります) ※市内在住の30～39歳までの女性は、視触診(料金400円)を受診可能です。



子宮頸がん検診

対 象	市内在住の20歳以上の女性 (2年に1回の受診となります)
内 容	問診、診察、細胞診(頸部)
日 時	平日 月～金曜日の午前中(予約制)
料 金	1,000円(70歳以上の方は無料となります)

検診に関するお問い合わせは、
市立芦屋病院 医事課 検診担当まで (TEL:0797-31-2156)

トリビアの広場 Vol.4

体組成分析装置(InBody)で自分のからだを知りましょう！



栄養管理室 澤田かおる・加隈愛子

このたび、体組成分析装置が導入されました。本装置は、生体に微弱な交流電流を流し、身体構成成分(体液や骨格筋量、皮下脂肪、内臓脂肪)を推定します。

また、近年高齢期の脆弱性を表す概念としてフレイル(要介護状態などのリスクが高まった状態)の中心的な病態であるサルコペニア(全身性の骨格筋量減少と筋機能が低下した状態)が進行すると、転びやすい→活動量低下→入院といったリスクが高くなります。本装置で測定した骨格筋量はサルコペニアの診断には欠かせません。

この検査は、①医師の指示②人間ドック時にオプションとして実施されるものの2パターンがあります。測定はとても簡単で、素足になり金属の装飾品(腕時計・指輪など)を外していただく必要があります。ただしペースメーカーを装着されている方や、おひとりで立位を保つことが困難な方、妊娠している・妊娠の可能性がある方は測定ができません。

食欲がなく筋力の低下が不安な方は、医師へご相談ください。栄養食事相談とあわせて継続的に評価し、あなたらしい毎日を過ごしましょう。



「かかりつけ医」からの紹介状を持って受診しましょう！

地域連携室

日常的な診療や健康管理等を行ってくれる身近なお医者さんを「かかりつけ医」と呼んでいます。病気になったり、怪我をしたら、まずはかかりつけ医へ受診することをお勧めしています。適切な医療を望むとき、かかりつけ医の診療や相談は大変心強いものです。個人で大病院を直接訪ねる前に、かかりつけ医と相談することで、病状に応じた適切な医療機関を紹介してくれます。その際には必ず「紹介状」を準備してもらいましょう。

紹介状の正式名称は「診療情報提供書」と呼ばれ、患者さんの基本情報や病名、病状、治療経過、投薬内容などの情報が記載されています。これまで医師がどのようなことを考え、どのように治療を行ってきたのかがコンパクトにまとめられており、医師同士で正確な情報を共有することは、患者さんがより良い医療を継続的に受けるために大変重要で、検査の重複などを防ぐメリットもあります。当院を受診する際には、なるべくかかりつけ医の先生からの紹介状をご持参ください。

なお、紹介状をお持ちの場合は、事前に当院地域連携室へご連絡いただければ診察や検査の予約も受け付けております。待ち時間が短くなり、当日スムーズな受診が可能になります。

紹介状を活用して、上手に病院へかかりましょう。



月の院内行事



7月は公開講座
にて開催します！

芦屋病院 マチネーコンサート

※毎月1回
日曜日に開催

- 日時 ● 7月10日(日) 14時30分～
- 場所 ● 外来ホール 黄色いピアノ前
- 内容 ● 黄色いピアノ17周年
お誕生日に寄せて
～☆輝け！スーパーキッズ！☆～



両親学級

※毎月第2土曜日
開催

- 日時 ● 7月9日(土) 10～12時
- 場所 ● 3階東病棟
- 内容 ● お産の経過・赤ちゃんとお風呂
- 対象 ● 妊娠22週以降の妊婦と
パートナー5組
- 問合せ ● 産婦人科外来
(電話は13時～16時)

糖尿病教室

※毎月第2金曜日
開催

- 日時 ● 9月9日(金) 13時30分～15時
- 場所 ● 病棟2階 講堂I
- 内容 ● 食事療法
～糖質に注目したカーボカウント法とは？～
糖尿病と眼の病気
- 講師 ● 管理栄養士、眼科医師
- 問合せ ● 栄養管理室
(電話は13時～16時)

夏

の公開講座

- | | |
|-------|---------------------------|
| 時 間 | 14時～15時30分 |
| 場 所 | 芦屋市民センター401号室 |
| 参 加 費 | 1回200円 |
| 問 合 セ | 芦屋市立公民館
(0797-35-0700) |

日 程	内 容	講 師
7月2日(土)	出張！糖尿病教室	糖尿病・内分泌内科 片岡 政子 医師 糖尿病教室スタッフ
8月6日(土)	中高年における排尿障害 ～院内開業10周年企画～	坂本泌尿器科 坂本 信宣 医師
9月3日(土)	心不全と食事 ～おいしく節塩～	循環器内科 北川 泰生 医師 澤田かおる 管理栄養士 加隈 愛子 管理栄養士

芦屋市善行賞「つつじ賞」を受賞しました～芦屋病院ボランティアの活動紹介～

長年にわたる献身的なボランティア活動が評価され、市立芦屋病院ボランティアが平成28年度芦屋市善行賞「つつじ賞」を受賞しました。

市立芦屋病院ボランティアは昭和42年に発足し、現在44名の会員が5つの部会(緩和ケア部会、ガーデン部会、図書部会、車椅子部会、縫製部会)に分かれボランティア活動を行っています。緩和ケア病棟における活動では、緩和ケアに関する知識が必要となることから、年間を通じて講習会の受講や勉強会を自主的に実施しています。また、花壇の植替えや、図書の整理、車椅子の整備のほか、皆さんから寄贈されたブルタブを換金し、車椅子を購入して寄付をする活動も行っています。病院に来られる方のお役に立ちたいと日々励んでおり、皆さんからの「ありがとう」の言葉が何よりの励みとなっています。

今後も市立芦屋病院ボランティア活動にご協力お願い致します。



芦屋市善行賞授賞式の様子

事業管理者のつぶやき

市立芦屋病院事業管理者 佐治 文隆

七をめぐって

2016年も折り返し点を過ぎ、7月を迎えました。数字の「7(七)」は単なる素数の一つに過ぎませんが、私たちにとって特別な意味を持つようです。身近なところでは、一週は日曜から始まり土曜に終わる7日です。ユダヤ教やキリスト教の聖典といえる旧約聖書の「創世記」で神は天地創造に6日を要し7日目に休息をとったと言います。仏教においても「三」とか「七」は意味のある数字のようで、金、銀、瑠璃、玻璃などからなる七種の宝「七宝」を重用します。死者を弔うにも初七日、四十九日といずれも七が関係します。日本で信仰されている福をもたらす神は「七福神」です。グリム童話「白雪姫」に登場するのは七人の小人です。どうも洋の東西を問わず、七は区切りの良い数字のように思えます。

七色といえば虹の色で、端から順に赤・橙・黄・緑・青・藍・紫(せき・とう・おう・りょく・せい・らん・し)と学校で覚えたものです。これはイギリス人のニュートンが唱えたことから始まったようで、アメリカやドイツでは6色、中国では5色とされ、日本でも5色といわれた時代がありました。科学的には太陽光のスペクトルは連続しているので、虹は無限の色から構成されています。便宜上七色とされたのはやはり七にこだわりがあったのかもしれません。また西洋音楽で使われる全音階、ド・レ・ミ・ファ・ソ・ラ・シも七音音階です。地震続きの日本で不本意ながらすっかりおなじみになった「震度」ですが、これもわが国では最大震度は7です。実際の気象庁震度階級は震度0から7の各段階に、震度5と6はそれぞれ弱と強に細分して10段階で表示しています。なぜ最大震度を10とせず7にしたのかはよくわかりません。ちなみに欧米やアジアの国々で採用されている地震の震度階級は、名称や基準に違いはありますが12段

階表示が多いようです。

七には、「無くて七癖」「七難八苦」「色の白いは七難隠す」などあまりいい意味で使われないこともあります。「無くて七癖」は「あって四十八癖」と続き、この場合の「七」は「無くて」の「な」との語呂合わせです。また七や四十八の数字は単に印象を深めるための数でしょう。一方、「七難」は仏教用語で経典によって違いがありますが、例えば法華経では火難、水難、羅刹難(悪鬼による災難)、刀杖難、鬼難、枷鎖難、怨賊難を指します。また色白が隠す七難は具体的では無く、多くの欠点と解釈されます。「七難八苦」の「八苦」は生、老、病、死、愛別離苦、怨憎会苦、求不得苦、五陰盛苦を指し、「七難八苦」で世の中のありとあらゆる苦難を意味します。

七を交えたことわざには結構含蓄の深いものもあります。「仲人七うそ」でいわゆる仲人口にのって見合いをした男女、「浮世は衣装七分」で中身より見た目で決めて所帯を持ちます。ところが女はなかなかしたたかで、「七人の子をなすとも女に心を許すな」です。しかし男も男で「七つ下りの雨と四十男の道楽はやみそうでやまない」のです。よせん人生は「七転び八起き」ですね。ここは「伊勢へ七たび熊野へ三度」と信仰に頼るもよし、「朝茶は七里帰っても飲め」と健康に留意するのも良いでしょう。保険業界では、がん、心疾患(急性心筋梗塞)、脳血管疾患(脳卒中)、高血圧疾患(高血圧症)、糖尿病、肝疾患、腎疾患を七大生活習慣病と称しています。生活習慣を整えて、健康寿命を伸ばしましょう。(2016.7.1)



事業管理者のつぶやきについてはホームページにも連載しておりますのでぜひご覧下さい。

市立芦屋病院 ご案内



* 病院ネットワークバスもご利用ください 無料

交通案内

JR 芦屋駅、阪急芦屋川駅から

- タクシー 約7分
- バス 約25分
JR芦屋駅、阪急芦屋川駅 のりば2番
- 徒歩 約30分

市立芦屋病院の理念

病院理念
あい（愛）・しあわせ（幸福）・やさしさ（優しさ）

基本理念

芦屋市の中核病院として 地域社会に貢献します
患者の意思を尊重し 最善の医療と癒しを提供します

日本医療機能評価機構 認定施設 (3rdG:Ver1.0 一般病院2)



市立芦屋病院

〒659-8502 芦屋市朝日ヶ丘町39-1

TEL:0797-31-2156 FAX:0797-22-8822

ホームページ <http://www.ashiya-hosp.com>